

第1 刑法犯認知状況等

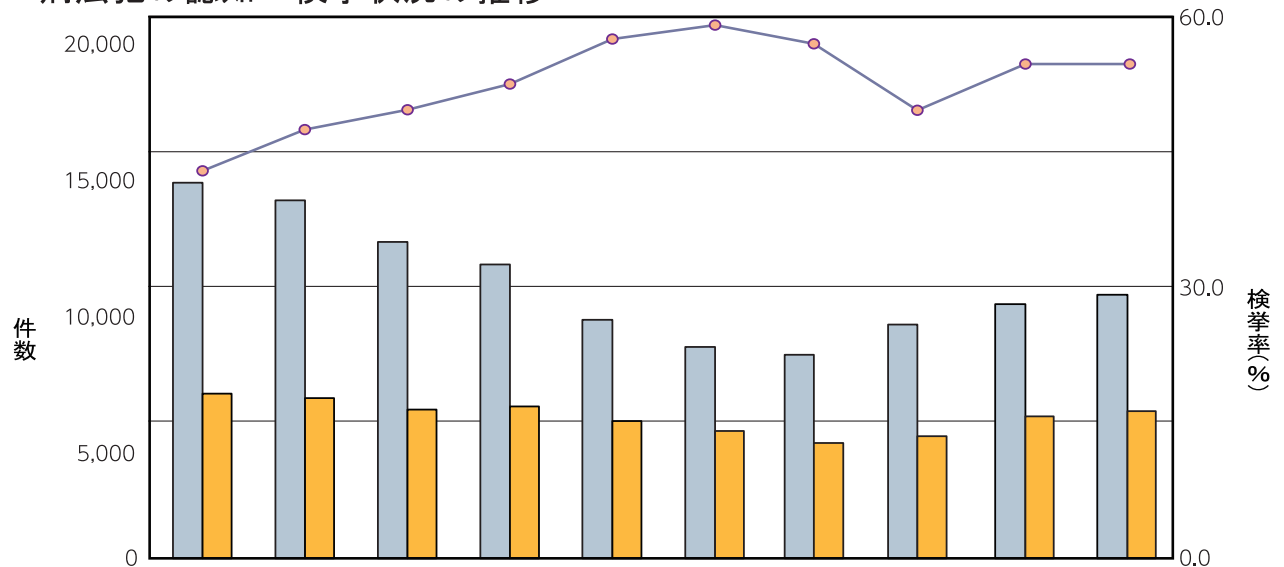
1 刑法犯の認知・検挙状況

(1) 概要

刑法犯の認知件数は、平成14年の3万5,947件をピークとして減少していましたが、令和5年に21年ぶりに増加に転じ、以降3年連続で増加しています。令和7年の認知件数は9,707件で、前年に比べ290件増加しました。

また、刑法犯の検挙件数は5,362件で、検挙率は55.2%でした。

(2) 刑法犯の認知・検挙状況の推移



	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
認知件数	14,149	12,757	11,137	10,743	8,561	7,746	7,433	8,672	9,417	9,707
検挙件数	6,154	6,034	5,527	5,615	4,977	4,593	4,155	4,262	5,161	5,362
検挙率(%)	43.5	47.3	49.6	52.3	58.1	59.3	55.9	49.1	54.8	55.2

2 重要犯罪の認知・検挙状況

- 重要犯罪の認知件数は168件で、前年に比べ14件増加しました。
- 検挙件数は163件で前年に比べ26件増加、検挙率は97.0%でした。

